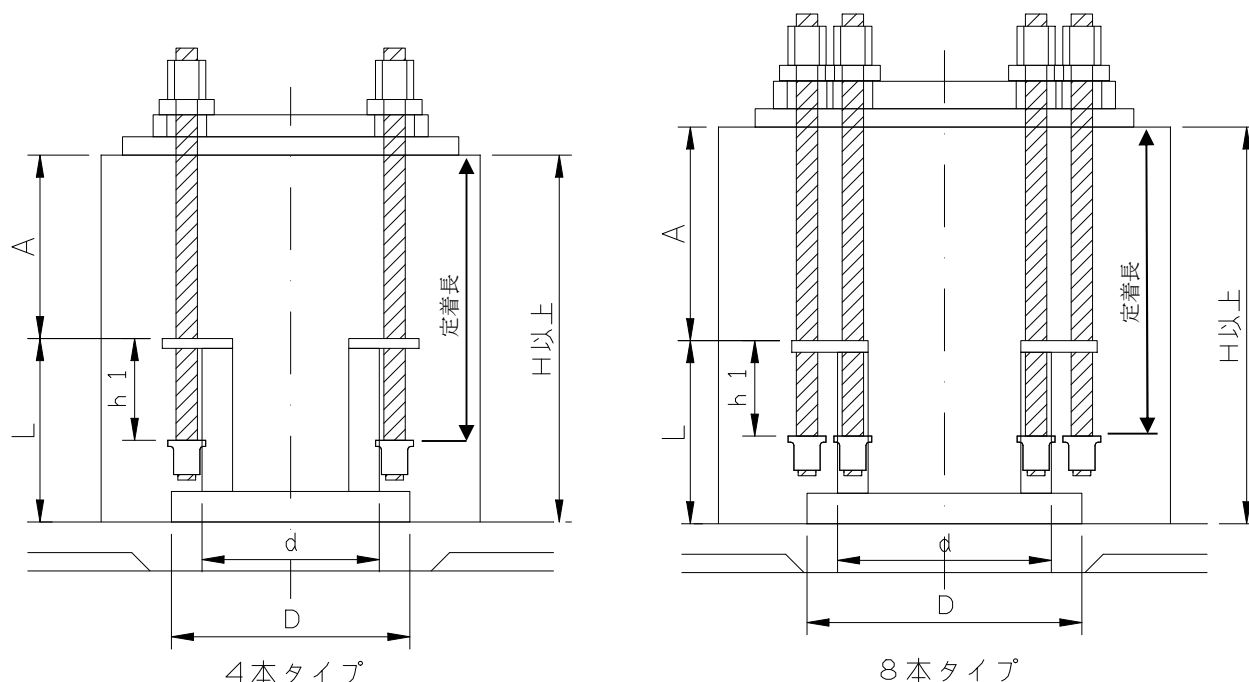


ジャストベース (JE II型) フレーム標準寸法について

ジャストベース (JEII型) のフレーム標準高さ及び補強フラットバーの標準位置を以下にご説明します。

① 4, 8本タイプの場合



**h1** : 下記による (機種別 寸法)

J B機種名(角形鋼管、円形鋼管)	h1
J150-12N, J175-12N, J200-09 N (角形鋼管)	150mm (標準)
J200-12N ~ J400-19N (角形鋼管) 円形鋼管仕様は全て	200mm (標準)

**A** : 下記による

A= 各機種別の定着長 - 上記 h1 寸法 (定着長はカタログより抜粋)

J B機種名 (角形鋼管)	定着長	A
J150-12N, J175-12N, J200-09N	430mm	280mm
J300-12N	430mm	230mm
J200-12N, J250-09N, J250-12N, J250-16N, J300-09N J300-16N, J300-19N, J350-12N, J350-16N, J400-12N	460mm	260mm
J350-19N, J400-16N	510mm	310mm
J350-22N, J400-19N	580mm	380mm

J B機種名 (円形鋼管)	定着長	A
J216-13N, J216-16N, J267-13N, J267-16N, J355-13N J355-16N, J406-13N, J457-13N	460mm	260mm
J318-13N, J318-16N, J406-19N, J406-22N, J457-19N J508-14N	510mm	310mm
J457-25N, J508-22N	580mm	380mm

※フレーム高さ L について

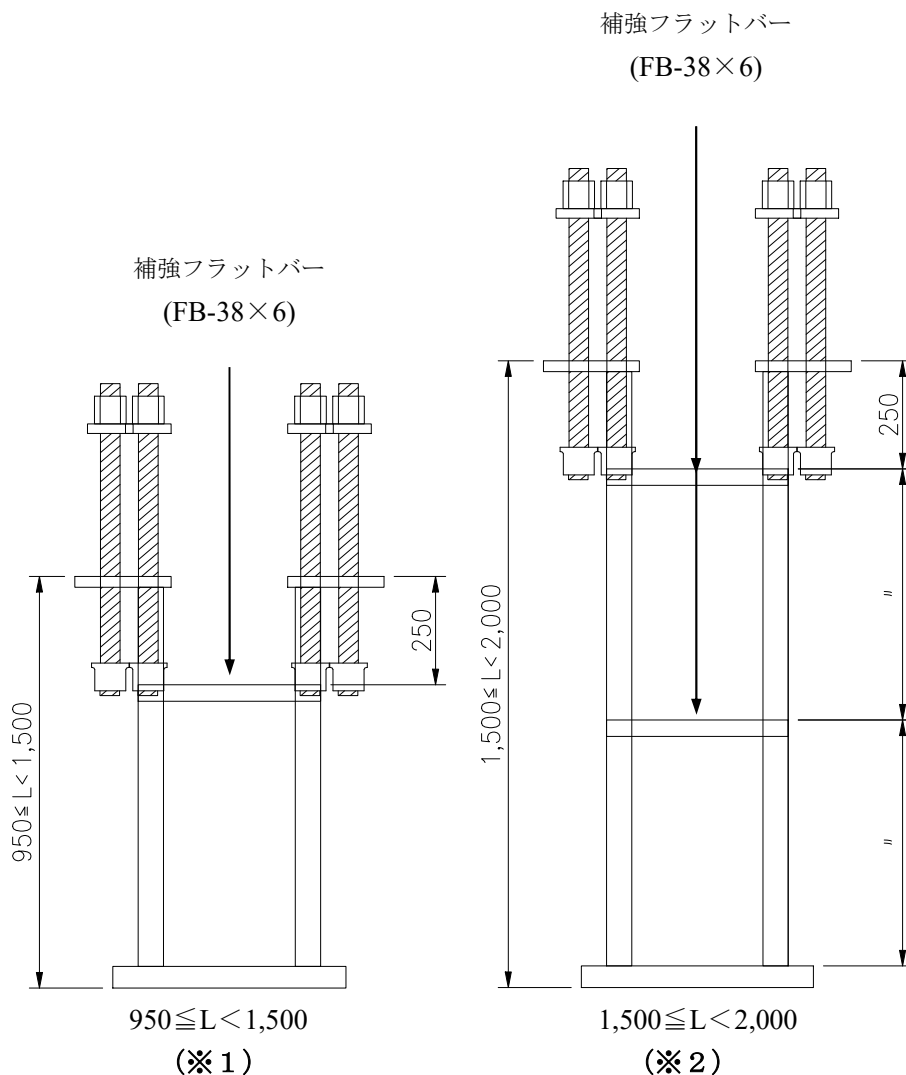
$L = H - A$  (但し 2 捨 3 入, 7 捨 8 入で 50 ピッチとする)  $H$  はコンクリート基礎高さ  
 例:  $L=430$  なら 3 入で 450、 $L=420$  なら 2 捨で 400。  
 $L=680$  なら 8 入で 700、 $L=670$  なら 7 捨で 650。

フレーム高さ (L) 計算例 (参考例)

- 1) 4,8 本タイプの場合 (J300-19N の場合 定着長=460  $h_1=200$ ) 基礎高さ  $H=1,200$   
 $L = H(\text{基礎高さ}) - A (\text{定着長 } 460 - h_1 \text{ } 200=260)$   
 $L=1,200 - 260 = 940$  上記 計算式 2 捨 3 入によりフレーム高さは 950 となる

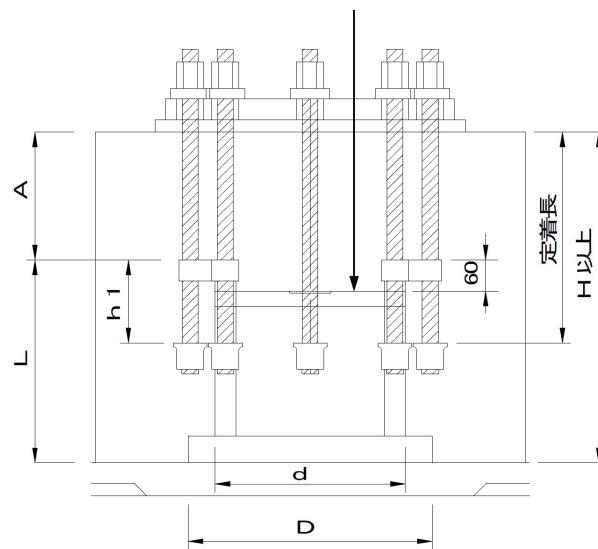
※補強フラットバーの位置について

- 1)  $L < 950$  の時、補強フラットバーは付けない。
- 2)  $950 \leq L < 1,500$  の時、補強フラットバーはポスト天端から 250 下がりの位置に 1 ヶ所設ける (※1)。
- 3)  $1,500 \leq L < 2,000$  の時、補強フラットバーはポスト天端から 250 下がりの位置に 1 ヶ所、フレームベースと補強フラットバーの間に 1 ヶ所、計 2 箇所設ける (※2)。
- 4) 2,000 以降、高さが 500 増えるごとに補強フラットバーは 1 ヶ所ずつ増える (要相談)



② 12本タイプ(角形鋼管仕様のみ)

補強フラットバー  
(FB-38×6)



12本タイプ

h1 : 下記による (機種別 寸法)

J B機種名 (角形鋼管)	h1
J400-22N ~ J550-25N	200mm (標準)

A : 下記による

A = 各機種別の定着長 - 上記 h1 寸法 (定着長はカタログより抜粋)

J B機種名 (角形鋼管)	定着長	A
J400-22N, J400-25N, J450-16N, J450-19N	510mm	310mm
J450-22N, J450-25N, J500-19N, J500-22N, J550-19N J550-22N	580mm	380mm
J500-25N, J550-25N	670mm	470mm

※フレーム高さ L について

$L = H - A$  (但し 2 捨 3 入, 7 捨 8 入で 50 ピッチとする) Hはコンクリート基礎高さ

例 : L=630 なら 3 入で 650、L=620 なら 2 捨で 600。

L=780 なら 8 入で 800、L=770 なら 7 捨で 750。

フレーム高さ (L) 計算例 (参考例)

2) 12本タイプの場合 (J550-25N の場合 定着長=670 h1=200) 基礎高さH=1,500

$L = H$  (基礎高さ) - A (定着長 670 - h1 200 = 470)

$L = 1,500 - 470 = 1,030$  上記 計算式 2 捨 3 入でフレーム高さは 1,050 となる

※補強フラットバーの位置について

- 1)  $L < 950$  の時、補強フラットバーは上図の位置に 1 ヲ所設ける。
  - 2)  $950 \leq L < 2,000$  の時、補強フラットバーはポスト天端から 60mm 下がりの位置に 1 ヲ所、フレームベースと補強フラットバーの間に 1 ヲ所、計 2 ヲ所設ける (※ 3)。
  - 3)  $2,000 \leq L < 2,500$  の時、補強フラットバーはポスト天端から 60mm 下がりの位置に 1 ヲ所、フレームベースと補強フラットバーの間に均等配分で 2 ヲ所、計 3 ヲ所設ける (※ 4)。
- ただし  $L=2,000$  以上は要相談。

注記：12 本タイプの場合、補強フラットバーは必ず頭部に 1 ヲ所は取り付く。

